

Title	プロジェクト科目の紹介
Sub Title	Project course: education and research programs at CARLS
Author	玉田, 圭作(Tamada, Keisaku)
Publisher	慶應義塾大学グローバルCOEプログラム論理と感性の先端的教育研究拠点
Publication year	2009
Jtitle	Newsletter Vol.10, (2009. 12) ,p.6- 6
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO12002003-00000010-0061

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

プロジェクト科目の紹介

Project Course: Education and Research Programs at CARLS

本拠点では教育研究活動の一環として、平成19年度より社会学研究科、文学研究科の共通科目としてのプロジェクト科目を実施している。3年目に入ったこの科目も前期が終了した。ここでは科目A 脳と進化のプロジェクトを履修している大学院生に感想を寄せてもらった。

本プロジェクト科目ではNIRSを用い、マンガを読んでいる時や音楽を聴いている時の脳活動の測定を行っている。履修者は2名とも脳科学が専門ではない初学者であるため、NIRSの原理と構造、NIRSの操作方法、実験の手続きと注意点、実験の構成、刺激提示プログラム作成、データの読み方、データ分析の方法、といった非常に多岐にわたる内容を一から学んでいる。

そして特筆すべきは、その学びの多くが実習を通じての学び、つまりOJT (On the Job Training) である点である。本プロジェクト科目では2名の履修者がそれぞれ実験者と被験者の役割を交代で受け持ち、指導教員の小嶋祥三先生の指導の元の実習(予備実験)を何度も行い、試行錯誤を繰り返しながら多くのことを学び身につ

けている。このように実習を何度も比較的手軽に行えるという恵まれた環境を最大限に利用していきたいと考える。

また、分野横断的性質を持つ本プロジェクト科目においては、他分野の教員や研究員と議論を行う機会が多い。こうして自分の専門とは異なる視点からの意見やコメントを受けることは、大きな刺激となると共に日々新たな発見の連続である。この貴重な経験を生かし、自分の研究の更なる展開と発展につなげていきたいと考える。

(玉田圭作)

In this project course, we are learning lots of things (how to use NIRS, how to organize experiments, how to analyze NIRS data) through practices. This OJT (On the Job Training) helps our learning very much. Also we can get many important implications from various researchers in different fields.

脳の講習会始まる

Seminar Series on Brain Science has started

昨年に引き続き研究成果発信支援プログラム委員会による脳の講習会が始まった、12月19日までに22回の開催予定である(活動記録参照)。

脳の講習会は学問領域を超え、脳や認知神経科学に興味を持つ私のような学生にとって、とても有意義な講習会だと思う。発展の著しい認知神経科学において、現在どのような研究が行われているのかという研究紹介、どのような事が問題になっているのかという脳がどこまでわかっているかという機能の知識や、研究分野の紹介、脳機能画像研究がどのように行われているかという方法論の問題など、様々な角度から脳の知識を得られる事ができる。また、この講習会は脳の知識について基礎的な知識を学べる講習会であるので、未習者には概論のような役割、既習者には復習や専門分野以外の知識獲得という役割を果たすメリットがあるといえる。

今回この講習会には、前回に行われた脳の講習会のビデオ視聴、ならびに個人でのビデオ学習もできる利点がある。しかし、あく

までもビデオであるため、話題が前回のテーマに固定され、本当に現在の研究を知ることができない事と、学習者が疑問に思った点が講演者にしか答えられないような場合に対処が難しい事が問題といえるかもしれない。それでも、限られた時間や場ではあるが、認知神経科学の最先端の研究者の方々の講演が見られる事は、認知神経科学がどのように研究されているのかという興味を持つ学生や、若手研究者にとっては有意義な学習方法であると思う。

(細田顕嗣)

This seminar is very useful for students who are interested in the brain and cognitive neuroscience like me. In particular, we are able to learn the most advanced study of cognitive neuroscience from lectures as well as with videos. We have to make the most of these great opportunities provided by GCOE.

研究発信支援プログラム主催 脳の講習会

内容	日程	場所(三田キャンパス)	講師
脳の研究法 NIRS	9月30日	北館大会議室	皆川泰代
脳の基礎知識	10月3日	研究室棟A会議室	小嶋祥三
視覚1	10月7日	北館大会議室	田谷文彦
視覚2	10月10日	研究室棟B会議室	増田早哉子
運動1	10月14日	北館会議室3	小嶋祥三
運動2	10月17日	研究室棟A会議室	小嶋祥三
行為1	10月21日	北館大会議室	小嶋祥三
行為2	10月24日	研究室棟A会議室	小嶋祥三
記憶1	10月28日	研究室棟A会議室	小嶋祥三
記憶2	10月31日	研究室棟A会議室	小嶋祥三
前頭前野1	11月4日	北館大会議室	小嶋祥三

内容	日程	場所(三田キャンパス)	講師
前頭前野2	11月7日	北館会議室3	小嶋祥三
情動1	11月11日	北館大会議室	小嶋祥三
情動2	11月14日	北館会議室3	小嶋祥三
自己・他者・社会	11月18日	研究室棟A会議室	小嶋祥三
聴覚・音声	11月21日	研究室棟A会議室	皆川泰代
言語1	11月25日	北館大会議室	小嶋祥三
言語2	12月2日	北館大会議室	小嶋祥三
脳の統合機能1	12月9日	北館会議室3	小嶋祥三
脳の統合機能2	12月12日	研究室棟A会議室	小嶋祥三
進化	12月16日	研究室棟A会議室	渡辺茂
脳検定	12月19日	北館大会議室	小嶋祥三